

ハロー！ミュージアム「出前イベント：実施レポート」

団体名：水戸市立上大野小学校

対象：4～6学年

期日：2011年9月22日（木）

11：20～12：10

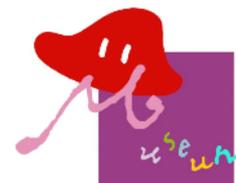
場所：水戸市立上大野小学校 1階 音楽室

目的：作品を進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感受性を高めるとともに、それらを大切にできるようになるため。



(上映内容)

- ・「プロローグ ・ 」
インタビューをまじえ気持ちについて考えてみよう。
- ・「ピクチャーハート 絵のきもち、どんなふう？」
様々な抽象画を音楽に合わせて紹介
- ・「どこから描いているのかな」
風景をみる視点の面白さを紹介
- ・「中村彝パワーポイント」
夭折の画家中村彝の人物紹介
- ・「中村彝の世界 静物・風景」
中村彝の静物・風景画を4点紹介。
- ・「エピローグ」
茨城県近代美術館の紹介。



(活動記録)

担当の先生の希望上映番組をもとにプログラムを構成した。

「ピクチャーハート 絵のきもち、どんなふう？」では抽象画を4点鑑賞し、その中から白髪一雄の「普門品 雲雷鼓撃電」をさらに詳しく鑑賞した。抽象画というと難しく感じてしまいがちだが、対話型の鑑賞方法を用い、絵をじっくりみて何色が使われているか、何か発見したことはあるか、作者はどんな気持ちで描いたのかななどを考えながら鑑賞した。

茨城の作家として、水戸市出身の洋画家である中村彝を紹介した。絵を見る前に人物を紹介することによって作品をより身近に感じることができた。

終了後、昨年の当館の企画展名を挙げ、「家族でみにいったよ。」と話す児童が何名かいた。本日のハロー！ミュージアムが家庭で話題にのぼり、家族で美術作品に興味をもってもらえたら嬉しい。